

みんな鰻



鰻の魅力にとりつかれし者たら、うなぎの美味しさと味わうことで元気になる者、鰻と携わって永く人生を過ごしてきた人たら。世の中にはこんなにくさんの鰻大好きな人たちがいます。

今回の特集では、鰻大好きな著名人たちのエピソードを紹介しています。暗いニュースが続く鰻業界ですが、この記事を読んだ方々が少しでも楽しんで頂ければ幸いです。

スポーツ選手

スポーツ選手は体が資本なので、鰻好きが多いのでは? と思いがちですが、意外とそうでもなく焼肉が第1位で、さらに最近の選手は若いときから体のメンテナンスを考へてヘルシー志向でもあります。しかし子供から大人まで日本人なら誰でも知っている、あの「イチロー選手」は実は鰻が大好きだそうです。イチロー選手と言えはカレーライスが有名ですが、そのカレーライスを朝のワイドショー番組で再現しました。その番組を観たイチロー選手は「ぜんぜん違っているよ!」と笑ったそうです。「それに、今はもうカレーライスは食べていないよ。今は鰻!」なんとイチロー選手は、毎回、自宅を出る前に鰻を食べているそうです。さらに、遠征先ではわざわざ取り寄せてまでも食べているそうです。そしてこんなこともあったそうです。ある日、手違いでいつもの鰻が食べられなくて、大急ぎで球場まで届けてもらったそうです。そのときのイチロー選手のコメントでは「あのと

きは本当に焦ったわ〜(汗)」あの冷静なイチロー選手が食べ物のこととそんな焦るなんて、想像するにちょっと可笑しいエピソードでした。その他、サッカー解説者の松木安太郎さんの実家は鰻屋さんです。そして、ロンドンオリンピック、日本女子体操のエース「鶴見虹子選手」は鰻が大好きだそうです。もし、鶴見選手がメダルを獲得したら、各局のインタビュウを受けると思います。そのときは、もちろん「鰻大好き」と言ってくれるでしょう。

芸能人・俳優

芸能界にも当然ながらたくさんの方が鰻好きです。まずは、**みのも**んたさん、これはある意味予想通りかもしれません。ナインティナインの岡村隆史さんも鰻大好きだそうです。意外なところでは**KARAのニ**コルさんは鰻の寿司が大好きだそうです。そしてこの人、こんなに鰻大好きなんだ!という方が若手俳優では大注目「**松山ケンイチ**」さんです。映画「カムイ外伝」のロケ現場では毎晩、鰻を食べていたそうです。

松山ケンイチさんは名古屋市中区にお気に入りの鰻屋さんがあるそうです。お取り寄せまでしているそうです。

作家・文化人

作家・文化人の方々も鰻好き!と公言しています。ある意味イメージ通りで特別に驚くこともありませんが、こゝまで鰻好きという方がいますので紹介します。その方は「**歌人・斎藤茂吉**」です。数ある著名人の中でも筆頭格にあげられるかもしれません。それだけに鰻に関するエピソードがあります。「うなぎの出前を4日連続で食べた」「昼、夕食とも蒲焼きだった」「30年間の日常をつづった(茂吉日記)をもとに斎藤茂吉が中年以降から亡くなるまでに食べた鰻の数は千匹以上というから驚きです。その他、**夏目漱石**、**森鷗外**、**谷崎潤一郎**、**池波正太郎**など、数々の方がいます。これまで紹介した皆さんは鰻を愛してやまない方々だと思います。著名人だけでなく鰻好きの方はたくさんいます。新東会会報誌では皆様が少しでも楽しめる記事をこれからも紹介してまいります。

お知らせ情報

- ◎新宿調理師専門学校 鰻授業のご案内
 - 6月4日(月) 6月7日(木)
 - 新宿調理師専門学校にて午前・午後と鰻授業を開催いたします。
 - ◎新店舗オープンのお知らせ
 - 鰻駒形「前川」
 - 東京スカイツリータウンソラマチ7F
 - 渋谷「松川」
 - 渋谷ヒカリエShinQs
 - (シンクス)B3F
 - ◎ご結婚・ご入籍のお知らせ
 - 関内「わかたな勤務 服部英雄さん 青砥真紀さん」と3月14日にご入籍されました。
 - 日本橋小網町「喜代川」若旦那 渡辺昌宏さん 多田恵理さんと5月6日、ロイヤルパークホテルにてご結婚されました。
 - 銚子「忠平」若社長、有楽町「灸一徹」社長 高安豊和さんと飯塚亜希子さんと5月20日明治記念館にてご結婚されました。

新東調理士会が取り組んでいる、江戸前蒲焼のPR活動や取り組みを、様々な切り口でご紹介します。



暗いニユースも
笑い飛ばせー！
鰻にまつわる
エトセトラ



鰻

にまつわる
おもしろ
エピソード

第一話
古典落語「鰻屋」のお話

第二話
お代を銀行振り込みする
ユニークな鰻屋

第三話
西郷隆盛、鰻屋さんへの粋
な計らい

第四話
祖父のいたずらにだまされ
て知った鰻の上・中・下

●古典落語「鰻屋」のお話

古典落語に「鰻屋」という話があります。どんなお話しかというと、新しくお店を開業したお店の主人が実は鰻をつかむことが苦手でも四苦八苦していました。それを聞いた二人の若者がお店にやってきて鰻を注文しました。案の定お店の主人は鰻をつまつかめず、鰻はお店の外へ逃げてしまった。お店の主人は鰻を追いかけてお店の外へ、そのへ帰ってきた女将さんが「あれ！うちの主人はどこへ？」とお客に聞くと「鰻を追いかけて外へ行ったよ！」驚いた女将さんは「ええあの人の前も堺から和歌山まで行ったんですよ！」。しばらくしてお店の主人が鰻を追いかけて町内を一周して帰ってきたが、お店の前を通り過ぎてしまった。注文をしたお客は「おい！おやつさんどこへ行くんや！」と聞くと、お店の主人は「鰻に聞いてくれ〜！」といつとも愉快なお話です。しかし、この物語には鰻の特徴が随所に織り込んであり、お店の主人の慌てぶりが思い浮かびます。

●お代を銀行振り込みする
ユニークな鰻屋さん

福岡県博多にある有名な鰻屋さんのお話です。そのお店のご主人はとってもユニークなことをしています。何かといつと、飲食業にとってクレジットカードの手数料というのはかなり利益率を減らすことになるのです。そこでお店のご主人は現金を

●西郷隆盛 鰻屋さんへの
粋な計らい

持たずクレジットカードで支払いをするお客には「振込用紙」を渡しているそうです。なんとお客に掛け払いを認めて後日入金を待つそうです。しかし、掛け倒れになっても年間に支払うクレジットカードの手数料より安くリスクも低かろうという考えだそうです。しかし、ある日、恐れていたことがおこりました。「社長またカードしか持っていないお客が！」そこで社長は「おう！いつものようにやっておけ！」と答えると。レジ担当の店員は「いや…実は日本人ではないんですが…」すると社長がまた言いました「いいからいつものように振込用紙を渡しておけ、ただし、パスポートのコピーはとっておけよ」それから3日後、代金は振り込まれていたそうです。

江戸時代から鰻の蒲焼は確立しましたが、西郷隆盛は鰻が大好きだったそうです。その為か鰻にまつわるたくさんのお話があるようです。西郷隆盛は「存じの通り幕末の英雄です。名君と言われた藩主「島津斉彬」に見出され薩摩藩の要職に携わりましたが、その次の藩主「島津久光」とは馬が合わず時には厳しい処罰を受け、島流しにされたりもしています。このエピソードは藩の要職から外され人里離れたところで隠棲していたときのお話です。

ある鰻屋さんで西郷隆盛が大好きな鰻を食べて「お代は置いておいたよ」と言って帰りました。お店の主

●祖父のいたずらにだまされて
知った鰻の上・中・下

このお話はある一般人のお話です。小学校へ入った頃、祖父に連れられて鰻屋さんへ行きました。鰻には上・中下の3つがあって、下はしっぽを使っていて少し硬い。中は鰻のおなかの部分が使われていて量も多い。上は鰻の頭の部分が使われていて、子供には苦いかもしれない。当然、子供は中を注文します。鰻料の上を注文されては困ると思った祖父に中学生になるまで、まんまと騙されたというお話です。

職人たちの「鰻」について

私は新東調理士会の会員になってこれまで数々のことを先輩方に技術を学びました。また、その間、鰻の蒲焼だけでなく、和食についても学び、既に37年という歳月が経ちました。

現在は、京都祇園にてお店を営んでいる「う」桶や「う」というお店に働いております。お店の自慢は鰻を桶に盛り付けて、それをみんなで取り分けて食するという方法で、結構人気があります。

皆さんも京都にお越しの時は是非一度、お店にお立ち寄りください。お待ちしております。



相原 清さん
う桶や「う」調理長
京都市東山区祇園町
南側570-120
TEL:075-551-9966

今回、八幡屋の立花順一さんを予定していましたが、ご病気のため、次回、26号でご紹介します。

会報誌【新東ファミリー】は業界発展のため精力的に取材活動を行います。ご意見、ご要望などございましたら、編集部にご連絡ください。

2012年土用丑の日は7月27日（金）です。

TEL.03-3582-4721 info@chourishi.co.jp